

雲南地震 救援の輪

AMDA 追加派遣

中国雲南省を襲った地震の被災者を救援するため、AMDA（アジア医師連絡協議会、本部・岡山市）は七日午後、第二陣として医師ら五人を派遣する。抗生物質など医療物資八百三十キを積み、関西国際空港から上海に向け出発する。

五人は、医師日谷明裕さ

（三〇）（三重県明和町）、中国出身の医師汪達紘さん（三五）（岡山市）ら。

被災地阪神 NGO動く

雲南省の地震に対し、神戸を中心とした市民グループ「阪神大震災地元NGO救援連絡会議」（草地賢一代表）が六日、義援金や救援物資の募集などの支援を始めた。神戸華僑総会（林

同春会長）が進めている支援活動をバックアップし、義援金は同総会を通じて役立てる。

義援金の振込先は郵便振替00970-7-39728、口座名義「阪神大震災地元NGO救援連絡会議」で通信欄に「中国雲南地震救援」と明記を。

物資は〒650神戸市中央区中山手通一の二八の七、カトリック社会活動神戸センターへ。問い合わせ先は同連絡会議（078・362・5951）。